

OMBUDSMAN / DIALOG プログラムに関する基本情報

■ Ombudsman/DIALOGは安全かつ機密のコミュニケーションチャンネルです。このプログラムは従来のチャンネル（例、上司）に取って替わるものであり、社員と経営者側との間のコミュニケーションを明確にかつ理解し易くしたものです。

■ Ombudsman/DIALOG を通して提起されるすべての質問および懸念事項は、経営者側が対応します。

■ UTC Ombudsmen は法的問題または調査を要する複雑な問題を処理します。DIALOG は比較的複雑ではない問題を処理し、質問および回答を文書でのみ取り扱います。DIALOGを通じて複雑な問題が提出された場合、それは Ombudsmanに付託されます。

■ Ombudsman/DIALOG プログラムは機密であり（問題を提示する個人を保護する）、中立であり（経営者側または社員側のいずれかを擁護することはありません）、そして独立したものです（経営者側からは切り離されて運用されます）。社員は匿名でも質問もしくは懸念事項を提出することができます。

よくある質問

Q. Ombudsman/DIALOGプログラムはどのようにUTCに役立ちますか？ なぜUTC は関心があるのですか？

A. Ombudsman/DIALOG は社員が安心して問題を提起できる環境を提供することを目的としています。問題を見つけることで、社内での改善が可能となります。過去5年間で、変革を求める問い合わせの半数が結果的に変革につながっています。Ombudsman/DIALOGでUTCが改善されていくのです。

Q. どのようにDIALOGを提出できますか？

A. DIALOGの問い合わせを書面で提出して下さい。裏のページにある記入用紙を利用して郵送する方法、またはUTCから独立した業者が運営する安全なインターネットサイト<https://edialog.confidential.utc.com> を通じて提出する方法があります。

Q. Ombudsman/DIALOGがUTCの一部だとすれば、守秘義務は社内でどのように守られますか？

A. Ombudsman/DIALOG プログラムの担当者は管理上UTCのビジネスプラクティス（業務規範）担当副社長の部下となります。Ombudsman Association（オンブズマン協会 — 非営利の国際倫理・業務規範団体）の倫理規定に準じ、オンブズマンおよび DIALOG プログラムコーディネータだけが本プログラムの利用者の身元を知っています。

Q. eDIALOG がインターネット上で運用されるのであれば、どのように守秘義務が保持されますか？

A. eDIALOGの守秘義務は安全な、UTCから独立した業者が運用するインターネットを使ったシステムです。問題を提起する社員が作成したパスワードを使用します。その社員だけが自分で作成した提起した問題だけに使える同じパスワードを用いて回答を読み出すことができます。その他に検索・表示ができる方法ははありません。

Q. 守秘義務に例外はありますか？

A. Ombudsman/DIALOG プログラムの担当者はDIALOG質問の作者の身元を保護し、(a) 裁判所による強制、または (b) 深刻な危害・損害を受ける差し迫った危険があると思われる場合を除き、作者本人の承諾なしに経営者側またはその他の人にそれを明かすことはありません。危害・損害のリスクに関する判断及び決定はオンブズマンのみによりなされます。

Q. どのようにオンブズマンに連絡できますか？

A. 世界中のどこからでもオンブズマンに連絡できる次の電話番号をご利用ください：アジア太平洋は800-871-9065、ヨーロッパ・中東・アフリカは 888-553-3335、南北アメリカは 800-458-4299。Ombudsmanの電話番号に無料通話で接続するには<http://www.business.att.com/bt/access.jsp>で検索した自国のAT&T Direct® アクセスコードをご利用ください。

UTCのOmbudsman/DIALOGプログラムに関して質問がありましたら、こちらをご参照ください：

<http://www.corphq.utc.com/emhand/dialog/>

